

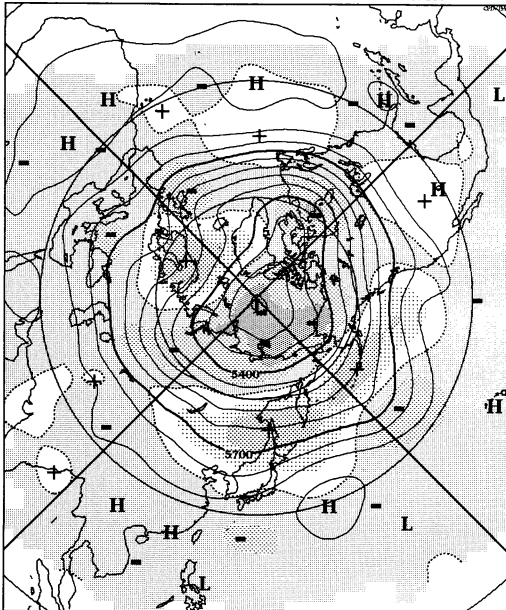
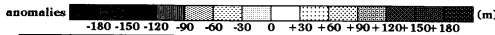
## 2000年9月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦の中心は極付近に位置し、平年より強かった。シベリアから北極海、北アメリカ北部にかけて、ヨーロッパ付近からユーラシア中部にかけて負偏差、太平洋北部からモンゴルにかけて、ヨーロッパ北部、ノルウェー海などで正偏差だった。極域では月を通して負偏差だった。亜熱帯ジェットはトルコからカスピ海にかけてとラブラドル半島付近で平年より強かったが、中国から太平洋では幅は平年より広く、強さは平年より弱かった。

850 hPa 高度および風ベクトル分布図によると、インド洋から西部熱帯太平洋にかけては南北両半球に弱い高気圧性循環の偏差が見られ、赤道域はインド洋中部から太平洋の中部にかけて弱い東風偏差が見られた。一方、南太平洋の東部には低気圧性の偏差が存在し、東部熱帯太平洋とペルー沖では、それぞれ西風偏差と北風偏差が強かった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、大規模な発散域はフィリピン付近に存在し、その中心はインド洋の活発な対流活動を反映して若干西寄りに位置していた。



2000年9月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差  
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。

SOI (南方振動指数) は+0.9と前月に引き続き正偏差傾向となった。

### 世界の天候

#### ① 日本からモンゴルの高温

中国の北京で21.9°C (+2.3°C)

#### ② 日本の多雨

#### ③ 東南アジアの高温

#### ④ ヨーロッパ北部の少雨

#### ⑤ サヘル域の高温・少雨

ブルキナファソのドリで31.2°C (+1.9°C), ワガドゥーグーで24 mm (18%)。

#### ⑥ ブラジル北部の多雨

ブラジルのレシフェで147 mm (561%)

#### ⑦ アルゼンチン南部の低温

アルゼンチンのトレレウで7.5°C (-3.1°C)

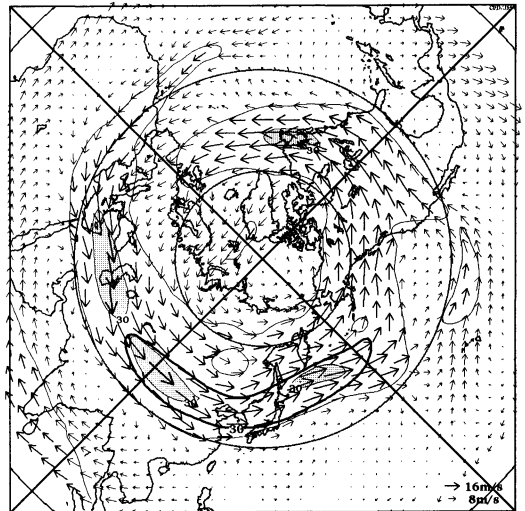
#### ⑧ ポリネシア南部の高温

#### ⑨ メラネシアの少雨

#### ⑩ オーストラリア東部の高温

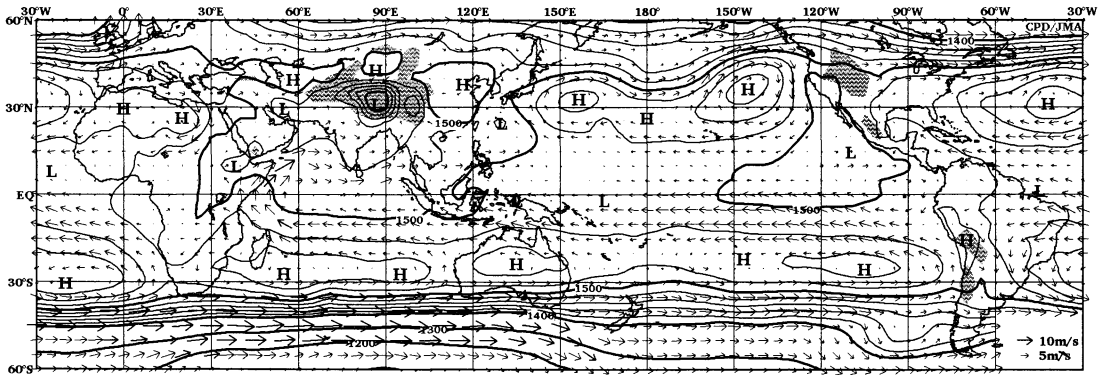
オーストラリアのコバーで19.0°C (+3.9°C)

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 山田和孝)

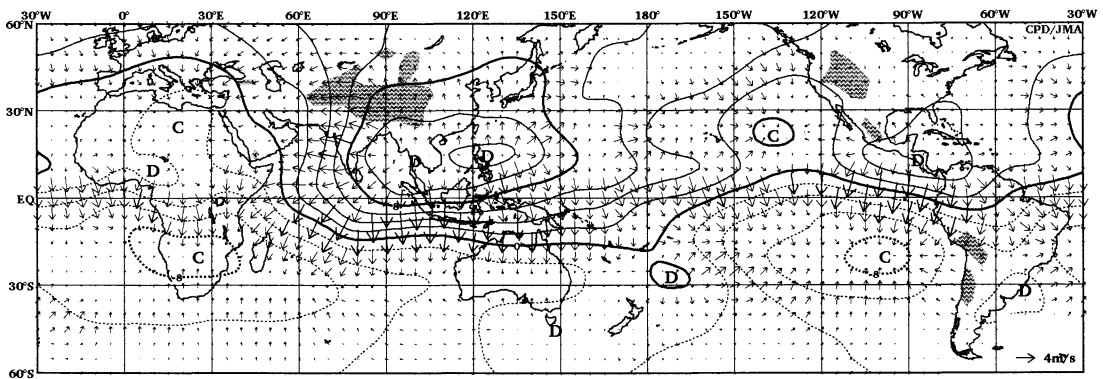


2000年9月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

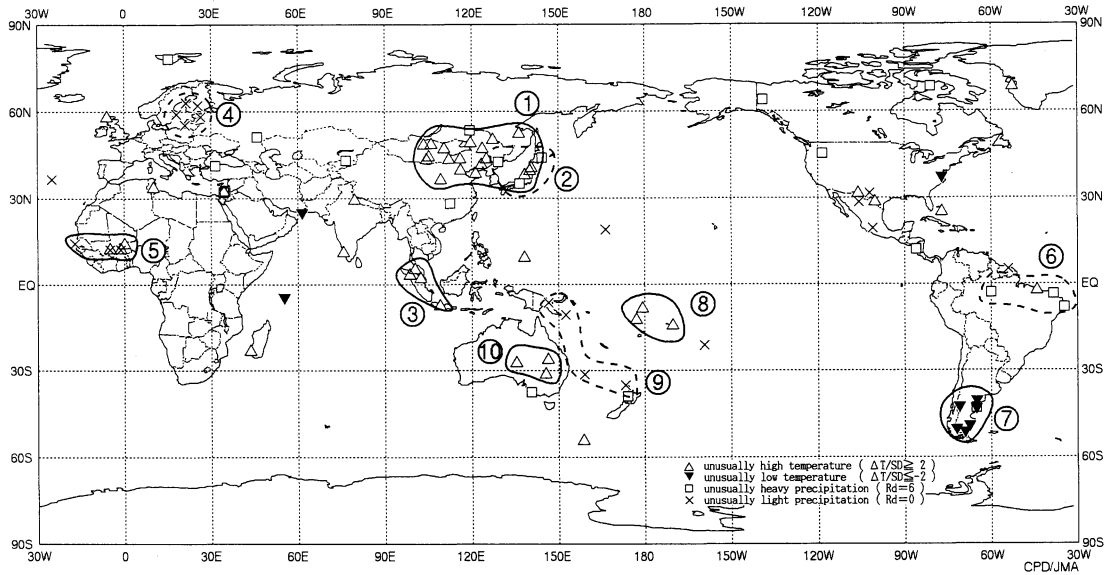
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は平年で40 m/s以上, 平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



2000年9月の月平均850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2000年9月の月平均200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2000年9月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の  
 番号は本文中の番号と対応している.